講義科目　:自治体行政特論 担　　当　:小野寺　一成	単位数　　:2 学習形態　:選択科目 実務経験　:有

講義の内容・方法および到達目標

この講義は、津市長をはじめ津市の職員によるリレー式の講義であり、本学の「地域連携講義」の一つとして行われる特色ある講義である。また、地方議会の傍聴も予定している。法経科では行政法、行政学、地方政治論、財政学など地方行財政を取り扱う講義科目、生活科学科では、地域政策論、地域福祉論、地域環境学、都市計画論、環境政策論など、自治体行政に関わる講義科目があり、それらをあわせて受講することにより、現在の地方行政に対する理解など、地方自治体に関する基礎知識を深めることを目標にしている。

授業計画（予定）

第１回	オリエンテーション、津市の概況、選挙について（選挙管理）
２回	津市シティプロモーション（広報課）
３回	津市の政策について（政策財務部）
４回	文化・スポーツについて（スポーツ文化振興部）
５回	産業振興（商工業／観光）について（商工観光部）
６回	産業振興（農林水産業）について（農林水産部）
７回	防災について（防災室）、津市議会傍聴にむけて
８回	津市議会傍聴【６月】
９回	津市の教育について（教育委員会事務局）
10回	都市計画について（都市計画部）
11回	財政について（政策財務部）
12回	環境行政について（環境部）
13回	津市の福祉について（健康福祉部）
14回	参加と協働のまちづくりについて（市民部）
15回	自治体経営（市長）

※なお、授業の進捗状況によって、内容を変更することもありえる。

○毎回の講義の概要、感想等をまとめた「講義ノート(A4判)」を提出する。
○６月津市議会を傍聴し、「議会傍聴レポート(A4判)」を提出する。

教材・テキスト・参考文献等

・教科書・参考文献等の指定はない。毎回の講義時に配布される各講師が準備したレジュメ・資料をもとに進めていく。

成績評価方法

・講義ノート(50%)、議会傍聴レポート(40%)、出席状況(10%)を併せて評価。
・1/3を超えて欠席した場合は評価の対象外、遅刻３回で１回の欠席とみなす。

実務経験

・講師は、現職の津市長を始め各課の専門職員であることから、それぞれの専門分野で実務を経験し各種の専門計画・事業に携わっている。授業では、これらの実務経験を活かした実践的な自治体基礎知識の養成に努める。